

まほろば



病院の理念

生命と人権を尊重し、良質かつ適切な医療を行います

第95号

2009年6月発行

【コラム】新型インフルエンザ

メキシコでの豚インフルエンザ発生が初めて報じられたのが4月25日、海外渡航者以外の国内感染が確認されたのが5月16日でした。この文章を書いている5月24日で第一報から約1ヶ月が経過したことになります。

この間、今回の新型インフルエンザの症状の幾つかが明らかとなってきました。1) 米国の642例の症状は発熱(94%)、咳(92%)、咽頭痛(66%)、下痢(25%)、嘔吐(25%)と季節性インフルエンザより下痢、嘔吐が多い(国内例では消化器症状は少ないようです)。2) スペイン風邪(1918~19)やソ連風邪(1977~78)と同じH1N1型である。3) 潜伏期は1日から4日。発症1日前から解熱するまで感染能力がある(発症後7日間感染能力があると考えたほうが無難)。4) 死亡率はメキシコで0.4%(メキシコ以外ではもっと低くなりそうで弱毒型である一因みに季節性インフルエンザでは0.1%程度)。5) タミフル、リレンザとも有効である(耐性は認められていない)。6) 国内感染者の87%が20歳未満であり、60歳以上の感染は極めて少ない(20日現在で203例中1例)。1957年以前のH1N1ウイルスに類似しているため? 7) 発症1~4日ではインフルエンザ簡易テストは約半数近く(43例中20例)がA型陰性であった(神戸)。などです。要するに今回の新型ウイルスは弱毒型であり、5月24日現在、国内では重症例や死亡例は認めていません。

今年の2月に政府が作った新型インフルエンザ対応マニュアルは強毒型の鳥インフルエンザを想定したも

のであり、今回の新型インフルエンザにそのまま適用するには無理があり、どうしても過剰対応になります。政府は指定医療機関と発熱外来のみに認めていた診察・入院を5月22日以降は一般医療機関にも認めるように運用指針を改定しましたが、あくまでも患者数が急増する地域に限ったものです。6月初旬には首都圏での蔓延が予想され、その後も北上するのは間違いなく、その時点時点での毒性と患者の重症度に応じた弾力的な運用が望まれます。一連の対応の中で、水際対策の効果は極めて限定的であり、新型インフルエンザの国内への侵入を阻止することはできないことが明らかになりました。

近い将来、強毒型の鳥インフルエンザが発生した時あるいは今回の新型インフルエンザの毒性が増強した時が最大の問題です。ニューヨークでの「模擬国連全米大会」に出席した2名の生徒が感染した洗足学園高校には誹謗中傷が数多く寄せられていると報道されており、弱毒型でのこのような過剰反応を考えれば、鳥インフルエンザの発生時あるいは強毒型への変異時には社会的にパニックに陥ることを想定せざるを得ません。また、強毒型では最悪、患者の隔離に終始せざるを得ない場合も想定されますが、この1ヶ月の騒動の中で蔓延時の病床や医療スタッフの深刻な不足が明らかになりました。今回の新型インフルエンザが(現時点で)弱毒型であることは不幸中の幸いであり、この秋までに現実的な体制の整備を急ぐ必要があります。

院長 佐藤 年信

《♪ りんごの花びらが — 弘前りんご花まつり —》

去る5月8日(金)~5月17日(日)、「弘前さくらまつり(5月5日終了)」の後に、「さくらの次はりんごの花」の謳い文句通り、第二のお花見とも言える「弘前りんご花まつり」が開催されました。



会場となった弘前市りんご園は、真っ白で清楚なりんごの花でいっぱいになり、桜とはまた違った風情の「お花見」となりました。お天気の良い日には、園内中央部に位置する「すり鉢山展望台」から、りんごの花のペールをひいた岩木山が望めます。

今年は、まつり期間中の土日に、一般道の一部が「歩行者天国」として開放され、例年以上にりんごの花を楽しむことができました。

まつりのイベントも、りんごにちなんだものが多く、親子りんご皮むき大会やりんごクイズ、りんご押し花作りや授粉体験等々、子供から大人まで楽しめるよう、とても工夫されていました。これを機会に、「りんご」についてもっと勉強してみようと思います。



入院係 工藤 真淑

市民講座「呼吸器の生活習慣病 COPD」 4月23日

COPD (Chronic Obstructive Pulmonary Disease: 慢性閉塞性肺疾患) は、たばこが主な原因とされる生活習慣病です。肺への空気の通りが慢性的に悪くなりゆっくりと進行していく病気で、これまで肺気腫や慢性気管支炎とよばれていたものが含まれます。近年、患者数、死亡者数が急速に増加しており、世界保健機関によると、2020年には世界の死亡原因の第3位になると予想されています。

早期発見のためには、呼吸機能検査が必要です。しかし、その検査結果はなかなか理解しにくいものです。そこで、現在の呼吸機能が、理想の呼吸機能とどれだけ隔たりがあるかを年齢という身近な指標

に置き換えて評価する“肺年齢”が注目されています。

“肺年齢”を知ることによって、将来の呼吸機能の低下をイメージすることができ、肺への健康意識を高めることができます。

たばこを吸っている40歳以上の方は、是非一度“肺年齢”のチェックをお勧めします。

呼吸器科医長 山本 勝丸



【医療相談について】

今回は高額療養費制度について説明させていただきます。

患者様が入院される際、医療費の支払に関して悩まれる場合があるかと思います。

平成19年4月より「限度額適用認定書」を医療機関に提出することにより入院時の窓口でのお支払いが自己負担の限度額までの支払いで済むようになりました。



この「限度額適用認定書」は国保の場合は市町村役場、社会保険の場合は社会保険事務所で発行していますので、各保険者に申請していただければと思います。

しかしながら、退院時のアンケート調査の結果等を見ましても、ご存知ない方が多くいらっしゃいました。

当院でも入院される患者様に対し配布している「入院案内」にも記載してはありますが詳細については当院医事係へご遠慮なくご相談ください。

専門職 石川 修

『看護の日』イベント 弘前病院看護師自治会

近代看護学の普及に尽力したフローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなみ、1965年に国際看護師協会は5月12日を「国際看護師の日」と制定いたしました。日本でも1990年から「看護の日」となっており、看護の心・ケアの心・助け合いの心を広く国民が分かち合うことを趣旨に、毎年全国各地で様々なイベントが行われています。



「看護の日」PRのグッズ配布を行いました。またき

当院の看護師自治会でも毎年行っており、今年は5月11日から15日まで当院玄関ロビーにおいてナイチンゲールの像とお花をかざり、12日には

ちょっとした手洗い方法を習得して頂こうと、手洗いチェッカーによる手洗い指導を行いました。

2時間という短い時間でしたが、約45名の皆様にお越し頂きました。

新型インフルエンザの流行におびえる昨今、指導することで普段の手洗いの大切さを認識していただいたのではないのでしょうか。



地域の皆様に、私たちの看護の心を少しでも届けたい!という思いをこめた手作りのイベントに、参加していただきありがとうございました!

これからも、弘前病院は、誠意と思いやりと笑顔で、みなさまに満足していただける医療サービスを提供していきます。

外来A看護師長(自治会長) 小山 あつ子

外来診療一覽

◆外来医師診療一覽表（2009年6月1日現在）

診療科	区分	月	火	水	木	金
総合診療外来		—	—	大 串 和 久	—	—
循環器内科		人 見 博 康	人 見 博 康	人 見 博 康	人 見 博 康	人 見 博 康
呼吸器科		山 本 勝 丸	中 川 英 之	中 川 英 之	山 本 勝 丸	中 川 英 之
消化器・血液内科		山 口 公 平	週毎に交替で担当 ①吉谷 / 松木 ②松木 / 山口 ③山口 / 吉谷	山 口 公 平	山 口 公 平	—
		吉 谷 元		松 木 明 彦	吉 谷 元	松 木 明 彦
		佐 藤 年 信		佐 藤 年 信	—	佐 藤 年 信
小児科		野 村 由美子	野 村 由美子	杉 本 和 彦	野 村 由美子	野 村 由美子
		杉 本 和 彦	佐 藤 工	八 木 弘 子	佐 藤 工	杉 本 和 彦
外科		田 澤 俊 幸	高 橋 克 郎	横 山 昌 樹	横 山 昌 樹	三 上 勝 也
		三 上 勝 也	三 上 勝 也	田 澤 俊 幸	高 橋 克 郎	横 山 昌 樹
整形外科	午前	柿 崎 寛	柿 崎 寛	秋 元 博 之	秋 元 博 之 鈴 木 雅 博	柿 崎 寛
		鈴 木 雅 博	能 見 修 也	鈴 木 雅 博	木 村 由 佳	秋 元 博 之
		浅 利 享				
	午後	—	—	—	—	柿 崎 寛
脳神経外科		—	—	木 村 正 英	—	—
皮膚科	午前	熊 野 高 行	佐 藤 正 憲	佐 藤 正 憲	熊 野 高 行	熊 野 高 行
		佐 藤 正 憲	熊 野 高 行	熊 野 高 行	佐 藤 正 憲	佐 藤 正 憲
	午後	● 予 約	● 手 術	● 予 約	● 手 術	● 予 約
泌尿器科		大 和 隆	大 和 隆	大 和 隆	大 和 隆	大 和 隆
産婦人科		真 鍋 麻 美	片 桐 清 一	真 鍋 麻 美	● 妊婦検診 (一般外来休診)	片 桐 清 一
		田 中 加奈子	小笠原 智 香	小笠原 智 香		田 中 加奈子
眼科		蒔 苗 順 義	蒔 苗 順 義	蒔 苗 順 義	蒔 苗 順 義	蒔 苗 順 義
耳鼻咽喉科		黒 田 令 子	黒 田 令 子	● 手 術 (一般外来休診)	黒 田 令 子	黒 田 令 子
		二 井 一 則	二 井 一 則		—	二 井 一 則
放射線科	診断	佐々木 幸 雄	佐々木 幸 雄	佐々木 幸 雄	佐々木 幸 雄	佐々木 幸 雄
	治療	—	—	川 口 英 夫 (午後)	—	—
麻酔科		● 手 術	● 手 術	● 手 術	工 藤 明	● 手 術
女性専用外科		杉 本 菜穂子 (※予約制 / 第1・第3火曜日午後診療)				
セカンドオピニオン		—	—	—	今 充	—

※ 学会、出張などにより担当医師が替わる場合があります。

【シリーズ】臨床検査のABC 細菌検査シリーズ③

今回は③の同定検査について説明します。

前回説明した各種培地から、必要に応じてさらに新しい培地で16時間～18時間培養し純培養（一種類の細菌だけを取り出す作業）した菌を検査に使用します。

★同定検査とは？

培養検査で検出した細菌の名前を決定する作業のことで、当院では自動細菌検査装置（VITEC2-compact）を使用しグラム陽性球菌／桿菌、グラム陰性球菌／桿菌、酵母様



真菌、嫌気性菌等を同定している。但しこれだけで全ての細菌を同定出来る訳ではなく必要に応じて生物学的性状検査や血清学的検査等を追加し同定検査を進めている。

★代表的な細菌としては

ブドウ球菌（MRSA等）・サルモネラ菌・赤痢菌・大腸菌（O-157大腸菌等）・カンピロバクター菌・腸炎ビブリオ菌・肺炎球菌・ヘモフィルス菌等は良く耳にする 菌名かと思います。

※次回は感受性試験について説明したいと思います！！

臨床検査技師長 高橋 俊英

「最高の一枚を撮る為に」

今回は、栄養新報やアンケート結果に載せている写真について、紹介したいと思います。

天井やうめおろしそばなど、月に数回行っているイベント食の日。この日の撮影担当者は①『美味しい料理をさらに美しく見える』②『調理の作業風景が伝わる』という使命感から、緊張の糸を張りつめカメラ片手に栄養管理室内を奔走しています。撮影は、食品の納入時から下処理・調理・盛り付けに至る各工程で行います。また出来上がった料理は、様々な角度から何度もシャッターを押します。

さて、写真を撮っている中で、最も難しいと感じ



るのが“みそラーメン”です。『湯気が出ているアツアツの状態』を写したい!!と意気込みカメラに向かいますが、湯気でレンズが曇ってしまい肝心のラーメンが写っていない場合や、麺を箸で持ち上げてもアツアツに見えないなど、なかなか新聞に載せられる傑作が撮れていません(悔)。“美味しい料理”とその料理を“さらに活かす写真”どちらも最高のものを皆様にお届け出来る様、頑張ります。!!楽しみに待っていて下さいね。



主任栄養士 野呂 直子

ふるさと紹介 — 山形県鶴岡市湯田川温泉 —

わたしが育った仙台は、「ふるさと」のイメージとはかけ離れており、かつて国立療養所湯田川病院に赴任した鶴岡市にある湯田川温泉を紹介する。

鶴岡市は今でこそ「おくりびと」で有名になり、何県にあるかはご存じの方も多いと思われるが、赴任する前までは秋田県にあるのか山形県にあるのか、よくわからなかった。また、学生の頃、山形蔵王までドライブに行くことはあったが、庄内地方まで足を延ばすことはなかった。

鶴岡という名称の由来は、湯田川温泉近くにある金峰山の頂上に登って眺めみると一目瞭然、町の形が鶴の羽を広げた形に似ていることから名付けられたと聞いている。療養所のあった湯田川地区は鶴岡市の南西の山間部に位置する田園地帯にあり、旅館やホテルが十数件しかない、ひなびた温泉街である。街には藤沢周平が若いときに教師として赴任し教鞭をとっていた湯田川小学校があり、街を散策すると



ノスタルジックな雰囲気に入浴することができる。街の中心部に共同浴場があり、老若男女、誰でも気さくに入浴することができ、見知らぬ人でも裸の付き合いならぬ湯船につかりながら世間話など、気さくな雰囲気を感じることができた。

春には孟宗竹が採れ、街の住民はその時期、毎日のように塩分の多い孟宗汁を食べることから、血圧が高くなり、診療所が繁盛する?という笑い話のようなことが起きる。

夏は白山地区で採れる「だだちゃ豆」が格別で、ビールのつまみには欠かせないものだ。秋には庄内柿やう・フランスなど多くの果物が採れ、山菜そばもうまかった。冬は厳しい荒波の日本海で捕れる「ノドグロ」や「鱈」の刺身など、仙台では食べられないものを食することができた。冬の厳しい時期を除けば、住みたい町の一つに入っている。

薬剤科長 小山田 光孝

★【川柳募集】 あなたの川柳をお待ちしています。

※広報誌編集委員会で選出し掲載いたします。

お知らせ

※毎月、第4水曜日地域医療研修センターにおいて、当院職員による市民講座を開催しております。参加は自由ですので、ぜひご参加下さい。

次回は6月24日(水) 午後5時40分から泌尿器科医長大和先生のお話を予定しています。

◆ 苦情・相談窓口

患者様やお見舞いの方などからの苦情・相談については、『患者相談室』のMSW(メディカルソーシャルワーカー)や、院内6か所に設置している『ご意見箱』で対応しています。

なお、皆様にお知らせした方が良い内容のものは、外来掲示板に掲示しています。

発行元 **独立行政法人国立病院機構弘前病院**
Hirosaki National Hospital
責任者 臨床研究部長 泉井 亮

〒036-8545 弘前市大字富野町1番地
TEL0172-32-4311 FAX0172-33-8614
ホームページ <http://www.hosp.go.jp/~hirosaki/>